

「本邦における生体肝移植ドナーの術後合併症、予後に関する第3回目全国調査」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター外科では信州大学を事務局とする生体肝移植ドナーの術後合併症、予後に関する第3回目全国調査に参加し、生体肝移植ドナー術後の実態把握に協力しています。詳細は以下の通りです。

新たにご負担いただく事項はありませんので、是非ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

研究課題名	本邦における生体肝移植ドナーの術後合併症、予後に関する第3回目全国調査
研究の目的 (試料・情報の利用 目的及び利用方法)	国内でおこなわれた生体肝移植ドナー手術の合併症率、予後等を明らかにすることを目的とした研究で、肝移植ドナー手術術後合併症率等のベンチマークを示すことが可能で、移植医療の安全性向上を目的としています。
対象の範囲 利用する試料・情報 の項目	1989年11月13日から2024年12月31日の期間に当院を含む共同研究機関で生体肝グラフト提供手術をうけたドナーの方（グラフト提供時18歳以上）を対象とします。 解析に用いる情報の項目は、年齢、性別、身体所見、手術成績、合併症を含む術後短期成績などのデータです。 この情報は個人を特定できない形で、信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野内に設置された全国調査事務局内で厳格に管理され、事務局はデータを集計して、解析に用います。情報は研究終了日から5年あるいは結果公表日から3年のいずれか遅い日をもって廃棄される予定です。
研究実施代表者機 関	研究事務局： 副島雄二 所属： 信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野 住所：〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 TEL： 0263-37-2654 FAX： 0263-35-1282
研究期間	2025年10月28日（研究機関の長による許可日）～2027年3月31日
情報の管理につい て責任を有する者・ 所属 (※院内の研究日 場合は研究責任者)	信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野 副島雄二 神奈川県立こども医療センター外科 新開真人

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究資金源は寄付金・研究助成金（資金提供元：萌黎会（東北大学小児外科同門会）研究助成金）ならびに厚生労働科学研究補助金からの支出を予定しています。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われま

す。本研究における企業等との利害関係はありません。今後生じた場合には、東北大学利益相反マネジメント委員会の承認を得たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除し、提供いたしません。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

（苦情等の相談窓口は総務課倫理委員会事務局です。）

連絡先 研究責任者 外科
新開 真人

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212